

第5回沖縄鉄軌道関係機関等意見交換会

議事要旨

1. 開催状況

日 時：平成30年3月2日（金）10：00～12：00

場 所：沖縄県庁 12階 第1・第2会議室

出席状況：

区分	機関	役職	氏名	備考
交通事業者	一般社団法人沖縄県バス協会	副会長	新入 勝行	代理
	沖縄都市モノレール株式会社	代表取締役社長	美里 義雅	
	一般社団法人沖縄県ハイヤー・タクシー協会	事務局長	津覇古 修	代理
	一般社団法人沖縄県レンタカー協会	会長代行	野原 朝貞	代理
経済・観光団体	沖縄県商工会議所連合会	総務部長	福地 敦士	代理
	一般財団法人沖縄観光コンベンションビューロー	会長	平良 朝敬	欠席
生活・交通弱者	一般社団法人沖縄県婦人連合会	副会長	神里 ちづゑ	代理
	NPO 法人バリアフリーネットワーク会議	代表	親川 修	
市民団体	一般社団法人トラムで未来をつくる会	代表理事	富本 実	
	NPO 法人しまづくりネット	理事長	中村 司	
	環金武湾地球温暖化対策地域協議会	会長	清水 洋一	
行政機関	沖縄県環境部環境再生課	課長	安里 修	
	〃 文化観光スポーツ部観光政策課	課長	前原 正人	欠席
	〃 土木建築部道路街路課	課長	玉城 佳卓	欠席
	〃 〃 道路管理課	副参事	島袋 一英	代理
	〃 〃 都市計画・モノレール課	主任技師	平良 義尚	代理

2. 主な議題

- (1) 推奨ルート案の選定結果について
- (2) 概略計画（案）及び計画段階以降に必要な取組・検討事項について

3. 議事要旨

- (1) 事務局より議題に沿って説明を行い、意見交換がなされた。
- (2) 関係機関等意見交換会での主な意見は下記のとおり。

<関係機関等意見交換会の主な意見について>

- 上下分離の場合、どこが上で、どこが下の役割を担うのか。
- 骨格軸のシステムは、LRT にすべきではないか。事業費は大幅に削減できる。那覇一名護間を1時間で結ぶことも可能と考える。
- 鉄道事業法等の解釈では、専用軌道の場合でも、高架や地下構造ではなく、地平に線路が引けるのではないか。
- 大量輸送が可能な鉄軌道の導入により、渋滞緩和に資することを期待する。LRT 導入等により渋滞が悪化するといいことがないようにして欲しい。
- 那覇から名護まで1時間で行ける速達性と、輸送能力を併せ持った骨格軸を確保して欲しい。
- 鉄軌道の今後の検討として、まちづくりの観点ではどのような進め方する予定か。
- 骨格となる鉄軌道が決まらなると、市町村の公共交通に関する計画も決まらない部分があるので、できるだけスピード感を持って、計画を進めて欲しい。
- 国道の上に高架をつくり、電車から沖縄の海を見て移動できるような仕組みをつくと、非常に観光的にいいと思う。観光の視点も取り入れて、計画を進めて欲しい。
- 電力の供給を考えているか。電力のインフラについて、低炭素型の電力供給というか、そういったものもぜひ検討していただきたい
公共交通の利用促進を図っていければ、CO2 削減にもつながる。再生エネルギーの活用についても検討・推進して欲しい。
- 需要予測について、観光客が占めるウェイトはどれぐらいか。

- 建設費用については、構想段階での試算よりも、実際は何倍にも膨らむということがよくあるが、こういうことにならないか。
- フィーダー交通についても、LRT や自動運転の BRT などにより充実を図って欲しい。
- 広域の市町村が独自で鉄軌道の導入を検討したいとってきた場合、県の対応としてはどのようなになるか。